

理事就任の ご挨拶



若井 広明
(東京都)



保田 亜起
(神奈川県)



岩野 義弘
(東京都)



謹啓 炎暑の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、この度日本インプラント臨床研究会の理事に就任いたしました。

微力ではございますが日本インプラント臨床研究会の発展に力を尽くして参りたいと念願しております。

思い起こせば当会にお世話になったのは入会以前からであります。卒後に勤務させて頂いた現副会長の浅賀 寛先生の下、当時では先駆的であったインプラント治療をオペ室完備で積極的に取り入れた臨床を学ばせて頂いておりました。勉強に関しても右も左もわからない新米ドクターの私を学会や日本インプラント臨床研究会の行事に参加させて頂きました。

“一生懸命に勉強した後には美味しいものを頂く(飲み会!!)”浅賀先生の教えの一つです。

そんな環境でたくさんの先生方にお会いし臨床の疑問を解決して参りました。参加当時は相浦 洲吉先生が会長をなさっていて、会員数も今ほど多くはなく和気あいあいとした雰囲気の中、学会や講習会後の打ち上げに未入会であった私も参加させて頂きました。その後100時間コースを受講し晴れて入会となりました。100時間コース初日の懇親会では、

すっかりお近づきした相浦会長の脇に座りお酒を酌み交わしたことで、同じく受講している先生方が私に挨拶頂きお帰りになるたび、恐縮しながらその後もゴールデン街で飲み続けていたことを思い出します。

日本インプラント臨床研研究会で勉強させていただき四半世紀がたちました。まだまだ私自身若手と思ってきましたがだいぶ会員年齢が若返ってきました。上手に世代交代ができ、会が永続的に続きますようバトンを繋いで参りたいと思っております。

今後も田中会長の下、理事の先生方と協力し楽しく集えるスタディグループとして会員の皆様が笑顔になれる研鑽の場を提供しつづけていって参ります。

今後とも引き続きご指導ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。まずは略儀ながら書中をもって就任のご挨拶を申し上げます。

若井 広明

会員の先生方こんにちは、講習会委員会の保田です。

この度理事を拝命し重責に身の引き締まる思いですが理事就任にあたり会員の先生方へご挨拶申し上げます。

私がこの研究会に入会したのは2000年。当時は100時間コースと呼ばれていた認定講習会を受講しました。私が受講したきっかけは大学卒業後に就職した当会の故千賀保彦先生から「インプラントするならこの講習会を受講しろ。」とほぼ強制的に受講をさせられました。私が講習会受講後の同年末に不慮の事故で千賀先生がお亡くなりになられたあと、大田善秋先生にお声がけ頂き講習会委員となりまし

理事就任挨拶

た。それから約20年にわたり認定講習会関連のお手伝いをさせて頂きました。

私が入会してから相浦 洲吉先生、深井 正樹先生、井汲 憲治先生そして現会長の田中 譲治先生と4名の会長の下で講習会委員をさせて頂きましたがどの先生にも大変お世話になりました。認定講習会に関してここ10年近くは若い先生方の受講が増え、当会の会員も若手が増え徐々に世代交代の波を感じています。今後も田中会長の下会員の先生方及び会の発展のために活動を推進してまいりますので、一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

保田 亜起

この度、令和3年6月20日の総会をもちまして新理事に選任されました、岩野義弘でございます。浅学非才の身ではございますが、微力ながら歴史ある日本インプラント臨床研究会のさらなる発展に少しでも寄与できますよう尽力して参る所存です。

伝統と実績のある当会の理事を拝命したのは、身に余る光栄であり身の引き締まる思いですが、これもひとえに井汲憲治名誉会長、故大田善秋名誉副会長、田中譲治会長に様々な場面で引き上げていただいたお陰と心より感謝申し上げます。

当会では、10年前より特別研修会委員会委員長を拝命し、講師の選定ならびにマネジメントを

行って参りました。またサイエンス委員会委員長として、3冊の書籍の編纂、QDI誌における2年間の連載に携わって参りました。

日本口腔インプラント学会では、10年間とき永きに渡って務められた尊敬する小倉隆一先生の後任として、2018年より学会誌編集委員を拝命し、日本口腔インプラント学会誌の査読ならびに50周年記念誌の編纂を行って参りました。また、学術大会にて6回の講演を、日本口腔インプラント学会誌にて2編の論文執筆をいたして参りました。

その他、当会の周知に少しでも貢献するべく、執筆・講演の際には日本インプラント臨床研究会サイエンス委員会委員長名を使わせて頂いて参りました。

多くの先輩方のお陰でさせて頂けた、そのような活動を評価して戴き、理事の末席に加えていただいたと存じますが、諸先輩方に比べれば会員歴も浅く、当会に対する貢献度がまだまだ低いことは十分承知しております。47年に渡る当会の歴史の中では、私などまだまだ駆け出しでございます。故乙部朱門名誉会長、故小嶋榮一名誉会長が作られ、代々育んでこられたフィロソフィーを大切に、より高みへと飛躍する当会の一助となれますよう、これからも精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

岩野 義弘

